

Chapter 6

学類生の研究活動

6.1. はじめに

生物学類に入学された皆様の中には、「高校の時に興味があった分野で研究をしてみたい!」「高校までやっていた研究を続けたい!」という意欲の高い方もいらっしゃるかもしれません。そのような方々のために、本項では筑波大学で用意されている早期研究応援のプログラムとその利用法、事例について紹介していきます。

6.2. 研究マインド応援プログラム

6.2.1. 概要

早期から研究を始めたい学生のため、生物学類には「**研究マインド応援プログラム**」と呼ばれる制度が用意されています。この研究マインド応援プログラムを利用することで、意欲のある学類1年～3年生は**実際に研究室に所属**してもらい研究活動を行うことができます。また、研究の成果に応じて単位をもらえます*1。

研究マインド応援プログラムは以下の流れで利用することができます。

1. 希望する教員に連絡をとって、教員との面接の許可を得る
2. 志望動機書を記入する
3. 教員と面接する*2
4. 面接と志望動機書の内容で教員による選抜が行われる
5. 教員による承諾を得たら、承諾書を学類長に提出
6. 研究開始

面接に関しては、教員と興味のあることに関してお喋りするくらいなのでそこまで身構えるほどのものでもありません。また、志望動機書に関しても、その研究室を志望する理由と、興味を持った経緯、研究活動で学びたいことなどを書いて志望動機書を埋めれば十分*3だと思います。

実際の研究活動の流れに関しては研究室によって大きく異なります。指導を受ける教員の思想にかなり依存するので一般的なことは何も言えませんが、本項では現在研究マインド応援プログラムを利用して研究活動を行なっている3人の2年生の研究体験をご紹介します。

1 通常は1単位

2 このタイミングで志望動機書を教員に提出する

3 もちろん、指定された用紙を8～9割は埋めましょう。常識の範囲内です